

令和4年度 印西市家庭教育学級だより

# かてきょう通信 10月号

「子育ては、自分育て」 ～家庭と地域の絆のために～

## 子どもは、行事の中で成長します

さわやかな風が心地よい季節となりました。しかし、コロナウィルスへの対応に加えて、今後はインフルエンザの流行も懸念されています。みなさん、体調に十分お気を付けてください。

さて、2学期は、運動会や体育祭、音楽集会などの発表会、絵画や書写の作品展、駅伝練習、部活動の大会など、様々な行事が予定されている時期です。子どもたちは、忙しくも、充実した日々を送っているのではないのでしょうか。

『行事で子どもは育つ』と言われる。体を動かして体力をつけたり、仲間と役割分担したり励まし合ったりしながら、社会性や思いやりを身に付けたりするのです。また、新しいことにチャレンジして、今まで知らなかったことや出来なかったことが出来るようになったりもします。そうやって、子どもたちは少しずつ成長していくのです。

しかし、スムーズにいくことばかりではありません。十分頑張っているけれど、うまくいかず、くじけそうになることもあるでしょう。あきらめたくなることもあるでしょう。

そんな時、日常の家庭での関わりの中で、次のようなことを心がけてみてください。

### 家庭でできることを心がけてみてください

- ❖ しっかり朝食を摂り、明るく送り出す。
- ❖ 子どもと向き合う時間を持つ。
- ❖ 子どもの思いを受け止める。
- ❖ 一緒に考える。
- ❖ 見守る。 など

親のこうした心がけや声かけが、子どもの心の支えになるのです。子どもが前に向かって進むための力になると思うのです。

むやみに「もっとがんばれ」と叱咤激励したり、原因を誰かのせいにしたりするのは、自分の力で乗り越えようとする子どもの自立の芽を踏み潰すことになってしまうかもしれません。

そして、子育てに悩んだり、振り返ったり、楽しんだりしながら、親自身が学び、成長していくことが、子どもたちの成長につながります。『子育ては、自分育て』。家庭教育学級は、自分自身を成長させ、磨くための機会です。

どうぞ、みなさんご参加ください。

【家庭教育学級のアイスブレイクの様子（小倉台小学校）】→

※アイスブレイク・・・集まった人を和ませるゲームなど



### ◇お問い合わせ◇

印西市教育委員会 教育部生涯学習課 推進係(担当 嶋・海老原)

【電話】0476-33-4713 【FAX】0476-42-0033



★「かてきょう通信」は、印西市ホームページでもご覧いただけます。  
印西市ホームページにて「かてきょう通信」と検索してください。